



## 機能、テンプレート、サービス、 およびユーザの設定

Cisco Unified IP Phone をネットワークに設置し、ネットワークの設定値を設定して、IP Phone を Cisco Unified Communications Manager に追加した後は、Cisco Unified Communications Manager の管理ページを使用して、テレフォニー機能を設定する必要があります。必要に応じて、電話テンプレートの修正、サービスのセットアップ、ユーザの割り当ても行います。

この章では、これらの設定およびセットアップについて、手順の概要を示します。これらの手順の詳細については、Cisco Unified Communications Manager のマニュアルを参照してください。

機能に関する情報をユーザに提供する方法、および提供する内容に関する推奨事項については、[付録 A 「Web サイトによるユーザへの情報提供」](#) を参照してください。

英語以外の環境での電話機のセットアップについては、[付録 C 「各言語ユーザのサポート」](#) を参照してください。

この章は、次の項で構成されています。

- [電話機で使用可能なテレフォニー機能 \(P.5-2\)](#)
- [社内ディレクトリとパーソナルディレクトリの設定 \(P.5-15\)](#)
- [電話ボタンテンプレートの変更 \(P.5-16\)](#)
- [ソフトキーテンプレートの設定 \(P.5-17\)](#)
- [サービスのセットアップ \(P.5-17\)](#)
- [Cisco Unified Communications Manager へのユーザの追加 \(P.5-18\)](#)
- [ユーザ オプション Web ページの管理 \(P.5-19\)](#)

## 電話機で使用可能なテレフォニー機能

Cisco Unified IP Phone を Cisco Unified Communications Manager に追加した後、電話機に機能を追加できます。表 5-1 に、サポートされているテレフォニー機能のリストを示します。これらの多くは、Cisco Unified Communications Manager の管理ページを使用して設定できます。この表の「設定の参照先」欄は、設定の手順と関連情報が記載された Cisco Unified Communications Manager マニュアルを示しています。

電話機のこれらの機能の使用方法については、『Cisco Unified IP Phone 7975G 電話ガイド』を参照してください。電話機の機能の包括的なリストについては、『Cisco Unified IP Phone Features A-Z』を参照してください。



(注)

Cisco Unified Communications Manager の管理ページには、各種のテレフォニー機能を設定するためのサービスパラメータもいくつかあります。サービスパラメータおよびそれらが制御する機能の詳細については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』を参照してください。

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能

機能	説明	設定の参照先
固定短縮ダイヤル機能	ユーザは、事前に割り当てておいたインデックスコード (1 ~ 99) を電話機のキーパッドで入力することで、電話番号をすばやくダイヤルできます。  インデックスコードは、ユーザオプション Web ページでユーザが割り当てます。	詳細については、次のマニュアルを参照してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「Cisco Unified IP Phone の設定」の章</li> <li>『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の「Cisco Unified IP Phone」の章</li> </ul>
匿名コールブロック  (SIP 電話機のみ)	ユーザは、匿名の発信者からのコールを拒否できます。	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「SIP プロファイルの設定」の章
メッセージ受信	メッセージ受信オン/メッセージ受信オフのインジケータの電話番号を定義します。直接接続されたボイスメッセージシステムは、指定した電話番号を使用して特定の Cisco Unified IP Phone のメッセージ受信表示を設定またはクリアします。	詳細については、次のマニュアルを参照してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「メッセージ受信の設定」の章</li> <li>『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の「Cisco Unified Communications Manager へのボイスメールの接続性」の章</li> </ul>

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能 (続き)

機能	説明	設定の参照先
オーディオメッセージ受信インジケータ (AMWI)	<p>ハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカフォンから聞こえるスタッター音により、ユーザが回線で新しいボイスメッセージを1つ以上受信したことが示されます。</p> <p> (注) スタッター音は回線によって異なります。この音が聞こえるのは、使用中の回線でメッセージを受信した場合のみです。</p>	<p>詳細については、『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の「Cisco Unified IP Phone」の章を参照してください。</p>
自動応答	<p>呼出音を1～2回鳴らした後に、着信コールを自動的に接続します。</p> <p>自動応答は、スピーカフォンとヘッドセットのどちらでも機能します。</p>	<p>詳細については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「電話番号の設定」の章</p>
自動ピックアップ	<p>ユーザは、コールピックアップ、グループのコールピックアップ、および他のグループのコールピックアップのための、ワンタッチのピックアップ機能を使用できます。</p>	<p>詳細については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービスガイド』の「コールピックアップグループ」の章を参照してください。</p>
割り込み	<p>ユーザは、共有の電話回線上でプライベートコール以外のコールに参加できます。割り込み機能には、C割り込みと割り込みがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>C割り込みは、ユーザをコールに追加してコールを会議に変換し、ユーザと他の通話相手が会議機能にアクセスできるようにするものです。</li> <li>割り込みは、ユーザをコールに追加しますが、コールを会議に変換しません。</li> </ul> <p>電話機は、割り込みを次の2つの会議モードでサポートしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ターゲットデバイス (割り込まれる側の電話機) の組み込み会議ブリッジ。このモードでは、<b>[割り込み]</b> ソフトキーを使用します。</li> <li>共有会議ブリッジ。このモードでは、<b>[C 割込]</b> ソフトキーを使用します。</li> </ul>	<p>詳細については、次のマニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「Cisco Unified IP Phone の設定」の章</li> <li>『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の「Cisco Unified IP Phone」の章</li> <li>『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービスガイド』の「割り込みとプライバシー」の章</li> </ul>
外線から外線への転送のブロック	<p>外線コールをユーザが別の外線コールに転送することを禁止します。</p>	<p>詳細については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービスガイド』の「External Call Transfer Restrictions 機能」の章を参照してください。</p>
ビジー ランプ フィールド (BLF) 短縮ダイヤル	<p>ユーザは、短縮ダイヤル ボタンに関連付けられている電話番号 (DN) のコール状態をモニタできます。</p>	<p>詳細については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービスガイド』の「プレゼンス」の章を参照してください。</p>

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能 (続き)

機能	説明	設定の参照先
コール表示の制限	発信回線および接続回線について表示する情報を、コールに関係する通話相手に応じて決定します。	<p>詳細については、次のマニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「Cisco Unified IP Phone の設定」の章</li> <li>『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の「ルートプランの概要」の章</li> <li>『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービスガイド』の「Call Display Restrictions 機能」の章</li> </ul>
コール転送	ユーザは、着信コールを別の番号にリダイレクトできます。コール転送オプションには、不在転送、話中転送、無応答時転送、およびカバレッジなし時転送があります。	<p>詳細については、次のマニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「電話番号の設定」の章</li> <li>『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の「Cisco Unified IP Phone」の章</li> <li><a href="#">ユーザ オプション Web ページに表示するオプションの指定 (P.5-19)</a></li> </ul>
設定可能なコール転送表示	コールの転送時に電話機に表示する情報を指定できます。この情報には、発信者の名前、発信者の電話番号、リダイレクト先の電話番号、および最初にダイヤルされた電話番号を含めることができます。	<p>詳細については、次のマニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「電話番号の設定」の章</li> <li>『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の「Cisco Unified IP Phone」の章</li> </ul>
コール転送の宛先の無効化	管理者は、Call Forward All (CFA; 不在転送) の転送先が CFA の転送元にコールを発信する場合には CFA を無効にすることができます。この機能により、CFA の転送先は、重要なコールがある場合に CFA の転送元に到達できるようになります。この無効化は、CFA の転送先の電話番号が内部か外部かに関係なく動作します。	<p>詳細については、『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の「Cisco Unified IP Phone」および「電話番号の概要」の章を参照してください。</p>
コールパーク	ユーザは、コールをパーク (一時的に保存) し、そのコールを Cisco Unified Communications Manager システムの別の電話機を使用して取得できます。	<p>詳細については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービスガイド』の「コールパーク」の章を参照してください。</p>

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能 (続き)

機能	説明	設定の参照先
コール ピックアップ	<p>ユーザは、自分のピックアップグループに属する別の電話機で呼出音が鳴っている場合に、そのコールを自分の電話機にリダイレクトできます。</p> <p>電話機のプライマリ回線に、音声による通知と画面表示による通知のいずれか一方または両方を設定できます。このアラートによって、ピックアップグループ内でコールの呼び出しがあることが通知されます。</p>	<p>詳細については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「コール ピックアップグループ」の章を参照してください。</p>
コール録音	<p>スーパーバイザは、アクティブなコールを録音できます。コールが録音されている間、ユーザには断続音 (ビーブ音) が聞こえる場合があります。</p> <p> <b>(注)</b> コールがモニタまたは録音されている間、インターコム機能は無効になります。</p>	<p>詳細については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービスガイド』の「モニタリングと録音」の章を参照してください。</p>
コール待機	<p>コールの最中に別の着信コールの呼出音が鳴っていることを通知し、ユーザが応答できるようにします。また、着信コールの情報を電話スクリーンに表示します。</p>	<p>詳細については、『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の「電話番号の概要」の章を参照してください。</p>
発信者 ID	<p>電話番号、名前、その他の説明テキストなど、発信者の情報を電話スクリーンに表示します。</p>	<p>詳細については、次のマニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「電話番号の設定」の章</li> <li>『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の「ルートプランの概要」の章</li> <li>『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービスガイド』の「Call Display Restrictions 機能」の章</li> </ul>
発信者 ID ブロック	<p>ユーザの電話番号または電子メールアドレスをブロックします。</p>	<p>詳細については、次のマニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「電話番号の設定」の章</li> <li>『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の「ルートプランの概要」の章</li> <li>『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「SIP プロファイルの設定」の章</li> </ul>

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能 (続き)

機能	説明	設定の参照先
Cisco Call Back	話し中や通話不能の相手が通話可能になったときに、ユーザの電話機に音声と画面表示によって通知します。	<p>詳細については、次のマニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「Cisco Unified IP Phone」の章</li> <li>『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「コールバック」の章</li> </ul>
Cisco Unified Communications Manager Assistant	コールルーティング サービス、マネージャ用の拡張された電話機能、および主にアシスタントが使用するデスクトップ インターフェイスを備えているため、マネージャとそのアシスタントは、効果的に協力して作業することができます。	<p>詳細については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「プロキシ回線サポートのある Cisco Unified Communications Manager Assistant」および「シェアドラインサポートのある Cisco Unified Communications Manager Assistant」の章を参照してください。</p>
Client matter codes (CMC) (SCCP 電話機のみ)	コールが特定のクライアント マターに関連するように指定できます。	<p>詳細については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「Client Matter Codes と Forced Authorization Codes」の章を参照してください。</p>
会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユーザは、各参加者を個別に呼び出して、複数の通話相手と同時に話すことができます。会議機能には、会議、参加、C 割り込み、およびミーティングがあります。</li> <li>標準 (アドホック) 会議では、開催者以外でも参加者を追加または削除できます。また、どの会議参加者でも同じ回線上の 2 つの標準会議を結合できます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>詳細については、『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「Cisco Unified IP Phone」および「会議ブリッジ」の章を参照してください。</li> <li>これらの機能を有効にするには、サービスパラメータの [Advance Adhoc Conference] (Cisco Unified Communications Manager の管理ページではデフォルトで無効になっています) を使用します。</li> </ul> <p> (注) ユーザに対し、これらの機能がアクティブであるかどうかを必ず通知してください。</p>
設定可能なコール転送表示	コールの転送時に電話機に表示する情報を指定できます。この情報には、発信者の名前、発信者の電話番号、リダイレクト先の電話番号、および最初にダイヤルされた電話番号を含めることができます。	<p>詳細については、次のマニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド』の「電話番号の設定」の章</li> <li>『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「Cisco Unified IP Phone」の章</li> </ul>

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能 (続き)

機能	説明	設定の参照先
ダイレクト コールパーク	<p>ユーザは、アクティブなコールを使用可能なダイレクト コールパーク番号に転送できます。[転送] ソフトキーを押してから、ダイレクト コールパーク番号をダイヤルすると、コールが保存されます。</p> <p>コールパーク BLF ボタンは、ダイレクト コールパーク番号への短縮ダイヤル アクセスを提供し、ダイレクト コールパーク番号が使用可能であるかどうかを示します。</p> <p> (注) ダイレクト コールパークを実装する場合は、[パーク] ソフトキーは設定しないでください。これは、ユーザが2つのコールパーク機能を混同してしまうのを防ぐためです。</p>	<p>詳細については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「コールパークとダイレクト コールパーク」の章を参照してください。</p>
直接転送 (SCCP 電話機のみ)	<p>ユーザは、2つのコールを相互に接続できます (ユーザの回線は切断されます)。</p>	<p>詳細については、『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「Cisco Unified IP Phone」の章を参照してください。</p>
サイレント (DND)	<p>DND をオンにすると、コールが呼び出し状態になっても呼出音が鳴らなくなります。</p> <p>DND のソフトキーに関するソフトキー テンプレート、または DND を選択機能の1つとして含む電話ボタン テンプレートを使用するように、電話機を設定できます。</p> <p>Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、次の DND 関連のパラメータを設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [サイレント (Do Not Disturb)]: このチェックボックスを使用すると、DND を電話機ごとに有効にすることができます。[デバイス] &gt; [電話] &gt; [電話の設定] を選択します。</li> <li>• [DND 着信呼警告 (DND Incoming Call Alert)]: 電話機で DND がアクティブのときに着信コールに対して発生させるアラートのタイプを選択します。このパラメータは、[共通の電話プロファイル (Common Phone Profile)] ウィンドウと [電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウの両方にあります ([電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウの値が優先されます)。</li> <li>• BLF ステータスに、DND を含める: ビジーまたはアイドル状態を DND ステータスで上書きできます。</li> </ul> <p> (注) ユーザは、Cisco Unified Communications Manager ユーザ オプション ページを使用して、DND の有効または無効にしたり、[DND 着信呼警告 (DND Incoming Call Alert)] や [DND タイムアウト (DND Timeout)] の設定を変更したりすることができます。</p>	<p>『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「サイレント」の章</p>

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能 (続き)

機能	説明	設定の参照先
エクステンション モビリティ (SCCP 電話機のみ)	ユーザは、共有の Cisco Unified IP Phone でエクステンション モビリティ サービスにログインすることで、特定の電話番号とユーザ プロファイルの設定をその電話機に一時的に適用できます。  エクステンション モビリティは、ユーザが社内のさまざまな場所で作業する場合や、同僚と作業スペースを共有する場合に役立ちます。	詳細については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「Cisco エクステンション モビリティ」の章を参照してください。
ファースト ダイヤル サービス	ユーザは、ファースト ダイヤル コードを入力してコールを発信できます。ファースト ダイヤル コードは、電話番号または [個人アドレス帳] エントリに割り当てることができます。この表の「サービス」を参照してください。	詳細については、次のマニュアルを参照してください。  <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド』の「IP Phone サービスの設定」の章</li> <li>『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「Cisco Unified IP Phone サービス」の章</li> </ul>
Forced Authorization Codes (FAC) (SCCP 電話機のみ)	特定のユーザが発信できるコールのタイプを制御します。	詳細については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「Client Matter Codes と Forced Authorization Codes」の章を参照してください。
グループのコール ピックアップ	ユーザは、別のグループの電話機で呼出音が鳴っている場合、グループ ピックアップ コードを使用してそのコールに応答できます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>詳細については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「コール ピックアップ グループ」の章を参照してください。</li> </ul>
保留	ユーザは、接続されたコールをアクティブな状態から保留状態に移行できます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>設定は必要ありません。ただし、保留音を使用する場合には必要です。この表の「保留音」を参照してください。</li> <li>また、この表の「保留復帰」も参照してください。</li> </ul>
保留復帰	コールの保留時間を制限します。制限時間が経過すると、コールは保留にした側の電話機に復帰し、ユーザにアラートが通知されます。  復帰コールの通知は、着信コールの場合とは異なり、1 回の呼出音 (回線の新規コール インジケータの設定によってはビープ音) によって行われます。この通知は、コールが再開されるまで、一定の間隔で繰り返されます。  コールが保留復帰した場合は、さらに、コール バブルにアニメーションのアイコンが表示され、ステータス行に簡潔なメッセージが表示されます。  コールのフォーカス優先度を着信コールまたは復帰コールのどちらかに設定できます。	この機能の設定方法の詳細については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「保留復帰」の章を参照してください。

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能 (続き)

機能	説明	設定の参照先
ハント グループ	<p>主要な電話番号へのコールに対して、ロードシェアリングを行います。ハント グループには、着信コールに応答できる一連の電話番号が含まれています。ハント グループ内の最初の電話番号が話し中の場合、システムは、グループ内で次に使用可能な電話番号を所定の順序で検索して特定し、その電話機にコールを転送します。</p>	<p>詳細については、次のマニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「ハントリストの設定」の章</li> <li>『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の「ルートプランの概要」の章</li> </ul>
即時転送	<p>ユーザは、呼び出し中のコール、接続されたコール、または保留中のコールを、ボイスメッセージシステムに直接転送できます。コールを転送した場合、その回線は新しいコールの発信または受信に使用できるようになります。</p>	<p>詳細については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービスガイド』の「即時転送」の章を参照してください。</p>
インターコム	<p>ユーザは、プログラム可能な電話ボタンを使用してインターコム コールを発信および受信できます。インターコム回線ボタンは、次の動作を行うように設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特定のインターコム内線番号を直接ダイヤルする</li> <li>インターコム コールを開始し、ユーザに有効なインターコム番号の入力を求める</li> </ul> <p> <b>(注)</b> ユーザが自分の Cisco エクステンション モビリティプロファイルを使用して、毎日同じ電話機にログインする場合は、インターコム情報を含む電話ボタン テンプレートをそのプロファイルに割り当て、その電話機をインターコム回線用のデフォルトのインターコム デバイスとして割り当ててください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービスガイド Release 6.1』の「インターコム」の章</li> <li>『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービスガイド Release 6.1』の「インターコム」の章</li> </ul>
参加 (SCCP 電話機のみ)	<p>ユーザは、1つの回線上にある複数のコールに参加して、会議コールを作成し、そのコールを維持することができます。</p>	<p>詳細については、『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の「Cisco Unified IP Phone」の章を参照してください。</p>
回線をまたいで参加 (SCCP 電話機のみ)	<p>ユーザは、参加機能を複数の電話回線上のコールに適用できます。</p>	<p>参照先 :</p> <p>この章の <a href="#">P.5-17 の「ソフトキー テンプレートの設定」</a> の項を参照してください。</p> <p>『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の「Cisco Unified IP Phone」の章を参照してください。</p>
ハント グループからのログアウト	<p>ユーザは、コールを受けることができない場合に、ハント グループからログアウトし、一時的にユーザの電話機で呼出音が鳴らないようにすることができます。ハント グループからログアウトしても、ハント グループ以外のコールでは、引き続き電話機で呼出音が鳴ります。</p>	<p>参照先</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><a href="#">P.5-17 の「ソフトキー テンプレートの設定」</a> の項を参照してください。</li> <li>『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の「ルートプランの概要」の章</li> </ul>

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能 (続き)

機能	説明	設定の参照先
迷惑呼 ID (MCID)  (SCCP 電話機のみ)	ユーザは、受信した不審なコールについてシステム管理者に通知できます。	詳細については、次のマニュアルを参照してください。  <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「Cisco Unified IP Phone」の章</li> <li>『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「迷惑呼 ID」の章</li> </ul>
ミーティング会議	ユーザは、ミーティング会議をホスティングできます。この会議では、他の参加者は事前に決められた番号に所定の時刻にコールします。	詳細については、『Cisco Unified Communications Manager アドミネストレーション ガイド』の「ミーティング番号/パターンの設定」および「会議ブリッジの設定」の章
メッセージ受信インジケータ	ユーザが 1 つ以上の新しいボイス メッセージを受信したことを示すハンドセット上のランプ。	詳細については、次のマニュアルを参照してください。  <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco Unified Communications Manager アドミネストレーション ガイド』の「メッセージ受信の設定」の章</li> <li>『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「Cisco Unified Communications Manager へのボイスメールの接続性」の章</li> </ul>
モバイル コネクト	ユーザは、1 つの電話番号を使用してビジネス コールを管理することや、デスクトップ電話機および携帯電話で進行中のコールをピックアップすることができます。	詳細については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「モバイル コネクトとモバイル ボイス アクセス」の章を参照してください。
モバイル ボイス アクセス	モバイル コネクト機能が拡張され、ユーザは Interactive Voice Response (IVR; 自動音声応答) システムにアクセスして、携帯電話などのリモート デバイスからコールを発信できるようになります。	詳細については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「モバイル コネクトとモバイル ボイス アクセス」の章を参照してください。
Multilevel Precedence and Preemption (MLPP)  (SCCP 電話機のみ)	電話システム内でコールに優先順位を付けることができます。この機能は、緊急または重要なコールを発信および受信する必要がある環境で作業する場合に使用します。	詳細については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「Multilevel Precedence and Preemption」の章を参照してください。
保留音	発信者が保留状態になっている間、音楽を再生します。	詳細については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「保留音」の章を参照してください。
オンフック コール転送	ユーザは、[転送] ソフトキーを 1 回押すだけで電話機をオンフックにして、コール転送を完了できます。	詳細については、『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「Cisco Unified IP Phone」の章を参照してください。
他のグループのピックアップ	ユーザは、ユーザのグループに関連付けられている別のグループの電話機で呼出音が鳴っている場合に、そのコールに応答できます。	詳細については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「コールピックアップグループ」の章を参照してください。

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能 (続き)

機能	説明	設定の参照先
プレゼンス対応ディレクトリ	ユーザは、コールログ、短縮ダイヤル、および社内ディレクトリにリストされている別の電話番号 (DN) のコール状態をモニタできます。コールの状態は、DN のビジーランプフィールド (BLF) に表示されます。	詳細については、『 <i>Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービスガイド</i> 』の「プレゼンス」の章を参照してください。
Private Line Automated Ringdown (PLAR) (SIP 電話機のみ)	Cisco Unified Communications Manager の管理者は、ハンドセットをオフフックにすると Cisco Unified IP Phone がただちにダイヤルする電話番号を設定できます。この機能は、緊急連絡や「ホットライン」の番号にコールするための電話機を用意する場合に役立ちます。	『 <i>Cisco Unified Communications Manager システムガイド</i> 』の「ダイヤルルールの概要」の章を参照してください。
プライバシー	回線を共有しているユーザが、コールに自分を追加すること、および他のユーザのコールに関する情報を電話スクリーンに表示することを禁止します。	<p>詳細については、次のマニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『<i>Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド</i>』の「Cisco Unified IP Phone の設定」の章</li> <li>『<i>Cisco Unified Communications Manager システムガイド</i>』の「Cisco Unified IP Phone」の章</li> <li>『<i>Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービスガイド</i>』の「割り込みとプライバシー」の章</li> </ul>
Quality Reporting Tool (QRT)	ユーザは、電話機の [品質] ソフトキーを使用して、問題のあるコールに関する情報を送信することができます。QRT は、QRT に必要なユーザインタラクションの量に応じて、2 つのユーザモードのどちらかに設定できます。	<p>詳細については、次のマニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『<i>Cisco Unified Communications Manager システムガイド</i>』の「Cisco Unified IP Phone」の章</li> <li>『<i>Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービスガイド</i>』の「Quality Report Tool」の章</li> </ul>
リダイヤル	ユーザは、直前にダイヤルした電話番号に、ソフトキーを押してコールできます。	設定は必要ありません。
呼出音設定	電話機に別のアクティブコールが到着したときに、回線で使用する呼出音タイプを指定します。	<p>詳細については、次のマニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『<i>Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド</i>』の「電話番号の設定」の章</li> <li><a href="#">カスタム電話呼出音の作成 (P.6-2)</a></li> </ul>

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能 (続き)

機能	説明	設定の参照先
セキュアな会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>セキュアな電話機から、セキュアな会議ブリッジを使用して会議コールを発信することができます。</li> <li>[会議]、[参加]、[C 割込]、[割込み] ソフトキーまたはミーティング会議を使用して新しい参加者を追加した場合、すべての参加者がセキュアな電話機を使用しているときは、セキュア コールアイコンが表示されます。</li> <li>会議リストには、会議参加者それぞれのセキュリティ レベルが表示されます。開催者は、会議リストから非セキュアな参加者を削除できます ([Advanced Adhoc Conference Enabled] パラメータが設定されている場合は、開催者以外でも会議参加者を追加または削除できます)。</li> </ul>	<p>セキュリティの詳細については、P.1-10 の「サポートされているセキュリティ機能の概要」を参照してください。</p> <p>詳細については、次のマニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「会議ブリッジ」の章</li> <li>『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド』の「会議ブリッジの設定」の章</li> <li>Cisco Unified Communications Manager セキュリティ ガイド</li> </ul>
サービス	Cisco Unified Communications Manager の管理ページにある [IP Phone サービスの設定 (IP Phone Services Configuration)] メニューを使用して、ユーザが登録できる電話サービスのリストを定義および管理できます。	<p>詳細については、次のマニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド』の「Cisco Unified IP Phone の設定」の章</li> <li>『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「Cisco Unified IP Phone サービス」の章</li> </ul>
サービス URL ボタン	ユーザは、電話機の [サービス] メニューの代わりにプログラム可能なボタンを使用して、サービスにアクセスすることができます。	<p>詳細については、次のマニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド』の「Cisco Unified IP Phone の設定」の章</li> <li>『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「Cisco Unified IP Phone サービス」の章</li> </ul>
シェアドライン	ユーザは、複数の電話機で同じ電話番号を共有したり、電話番号を同僚と共有したりできます。	詳細については、『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「Cisco Unified IP Phone」の章を参照してください。
サイレント モニタリング	<p>スーパーバイザは、通話者に気づかれずに、アクティブなコールを録音できます。スーパーバイザの音声は、コールのどちら側の通話者にも聞こえません。コールがモニタされている間、ユーザには断続音 (ビープ音) が聞こえる場合があります。</p> <p> (注) コールがモニタまたは録音されている間、インターコム機能は無効になります。</p>	詳細については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「モニタリングと録音」の章を参照してください。

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能 (続き)

機能	説明	設定の参照先
ワンボタン割り込み (SCCP 電話機のみ)	ユーザは、回線キーを押すことで、シェアドライン上にあるリモートで使用中のコールに対して割り込みまたは C 割り込みを行うことができます。	<p>詳細については、次のマニュアルを参照してください。</p> <p>『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「デバイスプールの設定」の章</p> <p>『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の「Cisco Unified IP Phone」の章</p> <p>『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービスガイド』の「割り込みとプライバシー」の章</p>
短縮ダイヤル	記憶されている指定番号をダイヤルします。	<p>詳細については、次のマニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「Cisco Unified IP Phone の設定」の章</li> <li>『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の「Cisco Unified IP Phone」の章</li> </ul>
Time-of-Day ルーティング	指定したテレフォニー機能へのアクセスを時間帯によって制限します。	<p>詳細については、次のマニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「時間帯の設定」の章</li> <li>『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の「Time-of-Day ルーティング」の章</li> </ul>
タッチスクリーン照明の無効化	<p>ユーザは、電話機のタッチスクリーン照明を無効にすることができます。無効にすると、タッチスクリーン照明が点灯するタイミングを判別するその他のルールが無効になります。</p> <p>この機能を提供するには、管理者が Display URI を実装する必要があります。ここでは、照明を無効にしておく時間も設定できます。</p>	<p>次の URL にある『Cisco Unified IP Phone Service Application Development Notes』を参照してください。</p> <p><a href="http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/products_programming_reference_guides_1ist.html">http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/products_programming_reference_guides_1ist.html</a></p>
転送	ユーザは、接続されているコールを自分の電話機から別の番号にリダイレクトできます。	設定は必要ありません。
ビデオモード (SCCP 電話機のみ)	ユーザは、システムに設定されているモードに応じて、ビデオ会議を表示するためのビデオ表示モードを選択できます。	<p>参照先：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「会議ブリッジの設定」の章を参照してください。</li> <li>『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の「ビデオテレフォニーの概要」の章を参照してください。</li> </ul>

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能 (続き)

機能	説明	設定の参照先
ビデオ サポート (SCCP 電話機のみ)	電話機でビデオ サポートを有効にします。	<p>詳細については、次のマニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「会議ブリッジの設定」の章</li> <li>• 『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の「ビデオテレフォニーの概要」の章</li> <li>• 『Cisco VT Advantage アドミニストレーションガイド』の「Cisco VT Advantage の概要」の章</li> </ul>
ボイス メッセージシステム	コールに応答がない場合に、発信者がメッセージを残せるようにします。	<p>詳細については、次のマニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「Cisco ボイスメール ポートの設定」の章</li> <li>• 『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の「Cisco Unified Communications Manager へのボイスメールの接続性」の章</li> </ul>

## 社内ディレクトリとパーソナル ディレクトリの設定

ユーザは Cisco Unified IP Phone 7975G のディレクトリ ボタンを使用して、いくつかのディレクトリにアクセスできます。このディレクトリには次のものがあります。

- 社内ディレクトリ：ユーザが、同僚の電話番号を調べることができます。  
この機能をサポートするには、社内ディレクトリを設定する必要があります。詳細については、[P.5-15](#) の「[社内ディレクトリの設定](#)」を参照してください。
- パーソナルディレクトリ：ユーザが、一連の個人の番号を保存できます。  
この機能をサポートするには、パーソナルディレクトリを設定するためのソフトウェアをユーザに提供する必要があります。詳細については、[P.5-15](#) の「[パーソナル ディレクトリの設定](#)」を参照してください。

### 社内ディレクトリの設定

Cisco Unified Communications Manager では、Cisco Unified Communications Manager と連動する Cisco Unified Communications Manager アプリケーションのユーザの認証情報と認可情報を保存するために、Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) ディレクトリを使用しています。認証とは、ユーザがシステムにアクセスする権利を確立することです。認可とは、ユーザが使用を許可されるテレフォニーリソース、たとえば特定の電話内線などを識別することです。

詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド*』の「LDAP システムの設定」、「LDAP ディレクトリの設定」、および「LDAP 認証の設定」の章を参照してください。

LDAP ディレクトリの設定が完了すると、ユーザは Cisco Unified IP Phone で社内ディレクトリ サービスを使用して、社内ディレクトリでユーザを検索できるようになります。

### パーソナル ディレクトリの設定

パーソナルディレクトリは、次の機能で構成されています。

- Personal Address Book (PAB; 個人アドレス帳)
- 個人ファーストダイヤル (ファーストダイヤル)
- アドレス帳同期化ツール (TABSynch)

ユーザは、次の方法でパーソナルディレクトリ機能にアクセスできます。

- Web ブラウザ：ユーザは、Cisco Unified Communications Manager ユーザ オプション Web ページから PAB およびファーストダイヤル機能にアクセスできます。
- Cisco Unified IP Phone：ユーザは、[ディレクトリ] > [パーソナル ディレクトリ] を選択して、電話機から PAB およびファーストダイヤル機能にアクセスできます。
- Microsoft Windows アプリケーション：ユーザは、TABSynch ツールを使用して、自分の PAB を Microsoft Outlook と同期化できます。

パーソナルディレクトリを Web ブラウザから設定するには、ユーザが自分のユーザ オプション Web ページにアクセスする必要があります。管理者は、ユーザに対して URL とログイン情報を提供する必要があります。

Microsoft Outlook と同期化するには、管理者から提供される TABSynch ユーティリティをユーザがインストールする必要があります。ユーザに配布する TABSynch ソフトウェアを入手するには、Cisco Unified Communications Manager の管理ページで [アプリケーション] > [プラグイン] を選択し、[Cisco Unified IP Phone Address Book Synchronizer] を見つけてクリックします。

## 電話ボタンテンプレートの変更

電話ボタンテンプレートを使用すると、プログラム可能な回線ボタンに短縮ダイヤルや機能を割り当てることができます。

SCCP 電話機と SIP 電話機はどちらも短縮ダイヤル ボタンをサポートしていますが、ボタンへのコール機能の割り当てがサポートされるかどうかは、次に示すようにコール制御プロトコルによって異なります。

- SCCP 電話機の場合、ボタンには、コール転送、リダイヤル、保留、および会議などのコール処理機能を割り当てることができます。
- SIP 電話機の場合、ボタンにはサイレント (DND) 機能だけを割り当てることができます。

テンプレートの変更は、可能な限り電話機をネットワークに登録する前に行ってください。この順序に従うと、登録の実行中、カスタマイズした電話ボタンテンプレート オプションに Cisco Unified Communications Manager からアクセスできます。

電話ボタンテンプレートを変更するには、Cisco Unified Communications Manager の管理ページで、**[デバイス] > [デバイスの設定] > [電話ボタンテンプレート]** を選択します。電話ボタンテンプレートを電話機に割り当てするには、Cisco Unified Communications Manager の管理ページの **[電話の設定 (Phone Configuration)]** ウィンドウにある **[電話ボタンテンプレート (Phone Button Template)]** フィールドを使用します。詳細については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』および『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』を参照してください。

Cisco Unified IP Phone 7975G に付属しているデフォルトのテンプレートでは、ボタン 1 と 2 を回線に使用し、ボタン 3 ~ 8 を短縮ダイヤルとして割り当てています。

ユーザが混乱しないように、1 つの機能をボタンとソフトキーに同時に割り当ててはしないでください。

推奨される標準の Cisco Unified IP Phone 7975G テンプレートでは、ボタン 1 と 2 を回線に使用し、ボタン 3 ~ 5 を短縮ダイヤルとして割り当て、ボタン 6 ~ 8 をそれぞれ保留、会議、および転送として割り当てています。

ソフトキーテンプレートの詳細については、[P.5-17 の「ソフトキーテンプレートの設定」](#)を参照してください。

## ソフトキー テンプレートの設定

Cisco Unified Communications Manager の管理ページを使用して、Cisco Unified IP Phone 7975G でサポートされるアプリケーションに関連付けられたソフトキーを管理できます。Cisco Unified Communications Manager では、標準と非標準という 2 タイプのソフトキー テンプレートをサポートしています。標準ソフトキー テンプレートには、Standard User、Standard Feature、Standard IPMA Assistant、Standard IPMA Manager、および Standard IPMA Shared Mode Manager が含まれています。ソフトキーをサポートするアプリケーションには、標準ソフトキー テンプレートを 1 つ以上関連付けることができます。標準ソフトキー テンプレートを修正するには、テンプレートのコピーを作成し、新しい名前を付けて、そのコピーしたソフトキー テンプレートをアップデートします。非標準のソフトキー テンプレートも修正できます。

ソフトキー テンプレートを設定するには、Cisco Unified Communications Manager の管理ページで、[デバイス] > [デバイスの設定] > [ソフトキーテンプレート] を選択します。ソフトキー テンプレートを電話機に割り当てるには、Cisco Unified Communications Manager の管理ページの [電話の設定 (Phone Configuration)] ページにある [ソフトキーテンプレート (Softkey Template)] フィールドを使用します。詳細については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』および『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』を参照してください。

## サービスのセットアップ

ユーザは、Cisco Unified IP Phone のサービス ボタンを使用して Cisco Unified IP Phone のサービスにアクセスできます。管理者は、電話機のプログラム可能なボタンにサービスを割り当てることもできます（詳細については、『Cisco Unified IP Phone 7975G 電話ガイド』を参照）。これらのサービスは、テキストと画像によるインタラクティブ コンテンツを電話機に表示するための XML アプリケーションを構成しています。サービスの例としては、映画の上映時刻、株式相場、天気予報などがあります。

ユーザがサービスにアクセスできるようにするには、次の作業が必要です。

- 管理者が Cisco Unified Communications Manager の管理ページを使用して、使用可能なサービスを設定する必要があります。
- ユーザは、Cisco Unified IP Phone ユーザ オプション ページを使用して、サービスに登録する必要があります。この Web ベース アプリケーションは、IP Phone のアプリケーションをエンドユーザが設定するための限定的なグラフィカル ユーザ インターフェイス (GUI) を提供します。

サービスをセットアップする前に、セットアップするサイトの URL をあらかじめ収集し、それらのサイトにユーザが社内の IP テレフォニー ネットワークからアクセスできることを確認しておきます。

これらのサービスをセットアップするには、Cisco Unified Communications Manager の管理ページで、[デバイス] > [デバイスの設定] > [IP Phone サービス] を選択します。詳細については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』および『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』を参照してください。

これらのサービスを設定した後、Cisco Unified Communications Manager IP Phone オプション Web ベース アプリケーションにユーザがアクセスできることを確認します。ユーザは、設定済みのサービスをこのアプリケーションで選択し、サービスに登録することができます。エンドユーザに提供する必要がある情報の要約については、P.A-4 の「サービスへの登録方法および電話機能の設定方法」を参照してください。

## Cisco Unified Communications Manager へのユーザの追加

ユーザを Cisco Unified Communications Manager に追加すると、管理者はユーザに関する情報を表示および管理できるようになり、各ユーザは次のタスクを実行できるようになります。

- Cisco Unified IP Phone から、社内ディレクトリや他のカスタマイズ済みディレクトリにアクセスする。
- パーソナル ディレクトリを作成する。
- 短縮ダイヤルとコール転送の番号をセットアップする。
- Cisco Unified IP Phone からアクセスできるサービスに登録する。

ユーザを Cisco Unified Communications Manager に追加するには、次のいずれかの方法を使用します。

- ユーザを 1 名ずつ追加するには、Cisco Unified Communications Manager の管理ページで、[ユーザ管理] > [エンドユーザ] を選択します。

ユーザの追加方法の詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド*』を参照してください。ユーザ情報の詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager システムガイド*』を参照してください。

- ユーザを一括して追加するには、一括管理ツールを使用します。この方法では、すべてのユーザに対して同一のデフォルトパスワードを設定することもできます。

詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager Bulk Administration ガイド*』を参照してください。

## ユーザ オプション Web ページの管理

ユーザ オプション Web ページでは、電話機のいくつかの機能や設定値をユーザがカスタマイズおよび制御できます。ユーザ オプション Web ページの詳細については、『Cisco Unified IP Phone 7975G 電話ガイド』を参照してください。

### ユーザ オプション Web ページへのユーザ アクセスの有効化

ユーザがユーザ オプション Web ページにアクセスできるようにするには、管理者が Cisco Unified Communications Manager の管理ページを使用して、ユーザを標準 Cisco Unified Communications Manager エンド ユーザ グループに追加しておく必要があります。この操作を行うには、[ユーザ管理] > [ユーザグループ] を選択します。また、適切な電話機をユーザに関連付ける必要もあります。これらの手順を実行するには、Cisco Unified Communications Manager の管理ページで、[ユーザ管理] > [エンドユーザ] を選択します。

詳細については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「エンドユーザの設定」の項を参照してください。

### ユーザ オプション Web ページに表示するオプションの指定

ユーザ オプション Web ページには、デフォルトではほとんどのオプションが表示されます。ただし、次のオプションは、システム管理者が Cisco Unified Communications Manager の管理ページで [エンタープライズパラメータ設定 (Enterprise Parameters Configuration)] の設定値を使用して設定する必要があります。

- Show Ring Settings
- Show Line Text Label Settings
- Show Call Forwarding



(注)

この設定値は、サイトのすべてのユーザ オプション Web ページに適用されます。

ユーザ オプション Web ページに表示されるオプションを指定するには、次の手順を実行します。

#### 手順

**ステップ 1** Cisco Unified Communications Manager の管理ページで、[システム] > [エンタープライズパラメータ] を選択します。

[エンタープライズパラメータ設定 (Enterprise Parameters Configuration)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** CCMUser Parameters 領域で、各パラメータ値のドロップダウン リスト ボックスから次のいずれかの値を選択し、パラメータをユーザ オプション Web ページに表示するかどうかを指定します。

**True** : オプションをユーザ オプション Web ページに表示する (デフォルト)。

**False** : オプションをユーザ オプション Web ページに表示しない。

- **Show All Settings** : コール転送のすべての設定をユーザ オプション Web ページに表示する (デフォルト)。
- **Hide All Settings** : コール転送の設定をユーザ オプション Web ページに表示しない。

- **Show Only Forward All** : 不在転送の設定だけをユーザ オプション Web ページに表示する。
-